

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		新規入職含むスタッフの災害発生に伴う実践的な訓練として消化訓練、避難訓練、通報訓練他 AED 設置に伴った訓練の実施が必要。	夜勤者等、訓練、講習に参加出来ないスタッフにも施設スタッフ全員が参加できるよう、年間数回に分けての受講を実施していく。	年2回の消防訓練、野田市救急救命訓練計画に合わせた受講者の決定と受講を行う。	12ヶ月
2		運営推進会議は毎回、行政、地域包括支援センター、自治会長、民生委員の方々にご参加いただき、2ヶ月1度行っておりますが、利用者、家族の意見の反映に偏りがでないよう情報伝達を行っていききたい。	出席出来ない方にも事前にアンケート等でご意見をいただくことで、様々な意見や要望をを今後のサービスに反映させていく。	運営推進会議のお知らせで事前にアンケート等を同封し会議で話し合う。また、参加が厳しい方には運営推進会議の内容を議事録でお伝えするとともに、ホームに来訪された際にも意見・要望を聞ける機会を設けていく。	3ヶ月
3		一人ひとりの日常的な外出支援として、夏は近所の夏祭りに参加したり、図書館、病院受信時に、売店で買い物をしたり支援しているが、特定の方に限られてしまうため、長時間の外出が厳しい入居者に対し、散歩以外の起案と実現を行っていく。	ホーム内外での地域交流、「夏祭り」や「ふれあいいきいきサロン」等に参加出来る入居者が限られているため、少人数であっても交代で全員が参加出来るよう外出支援を行っていく。	車椅子使用の方が増えているため、会場まで行くには1対1で職員の付添い、誘導が必要となる。現状、不参加の入居者をホームで見守る職員と、外出に付添う職員と必要だがスタッフの人数が不足している。実現するには職員の増員に向けて、求人活動を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。